

「布施とは」

広島県 海雲寺住職 かいうんじ
小川彰紀 おがわしょうき

「布施」とは、なんでしょう？ 大本山永平寺を開かれた道元禅師様は、布施とは「貪らないこと、欲張ったり、執着しないこと」とおっしゃっています。私は当初、この言葉の意味が分かりませんでした。しかし、私が修行していたお寺で、日々の何気ない経験から気づきがありました。

お寺での修行中、食事は基本的に皆で同時にとりませんが、時には順番に食事をいただくこともあります。ある日のことです、寺院の墓地の大掃除を行う際、修行僧をチーム分けして順番に食事をとることになりました。作業を終え、次々に戻ってくる修行僧をねぎらうため、その日、食事係が用意した献立は、カレーライスでした。使用できない食材もあるので、カレーといっても皆さんが想像するものとは少し違うと思いますが、とにかくご馳走です。

早めに作業を終えた私は、大量にカレーが用意されているのを良いことに、同じチームの仲間達とおかわりもして、ついついたくさん頂いてしまいました。そしてそのような、つuitたくさんが他にも重なったようで、最後まで頑張つて掃除していたチームが戻ってきたとき、ご飯が足りなくなっていたのです。急遽、食事係が別の日のためにとっておいたうどんを大急ぎで温め、事なきを得ました。しかし、しばらくして同僚から「カレーうどんもおいしかったけど、久しぶりのカレーは、ご飯で食べたかったなあ」と残念そうなつぶやきを聞きました。私は申し訳ない気持ちでいっぱいになりました。

自分の番が回ってきた時、どうして何も考えず、ご飯をいっぱい食べてしまったのだろう。「貪らないこと」、私はハツとして道元禅師様の言葉を振り返っていました。独り占めしたい欲に負けず、必要以上に取りたい気持ちから離れる。そこから、「布施の行い」は生じてくるのだ、そのようなことを考える良い機会となりました。